

まちづくりニュース

～市民と行政とのパートナーシップによるまちづくり～

平成13年6月15日
発行：太秦地下鉄駅周辺
まちづくり検討会

まちづくり検討会設置

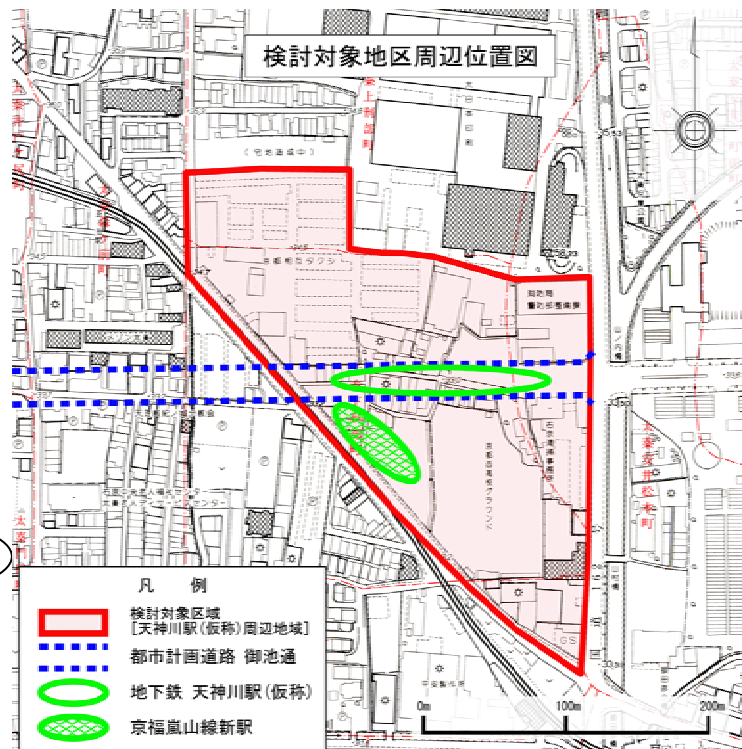
1月にまちづくり検討会が設置されてから、まちづくりは一步一步確実に前に進んでいます。しかし、そもそもなぜまちづくり検討会が必要なのでしょう？

この地区の整備課題

（右京区基本計画より）

- ・ 地下鉄天神川駅（仮称）の設置
- ・ 京福電鉄嵐山線との乗り換え
- ・ 御池通の整備
- ・ 駅前広場の整備とターミナル機能の充実
- ・ にぎわいのある空間の創出
- ・ 一体的整備のための面的整備

整備課題を実現し、住民の方が地区内に住み続けられるように、まちづくりを進めていく必要があります。



そこでっ！！

『市民と行政とのパートナーシップ』によってまちづくりを進めることが重要です。

パートナーシップの大切さが京都市基本計画や、右京区基本計画に示されています。

これからは住民が自らのまちのことを考えて、まちづくりを進めることが大切です。

市民と行政がともにまちづくりを考えるために『**まちづくり検討会**』をつくり、まちづくりの方向性を確認していきます。

これまでに確認された内容は？

- ・ 会の名称，世話人会の設置，座長の確認
- ・ 面的整備として，区画整理と再開発の合併施行
- ・ 京福電鉄新駅の位置

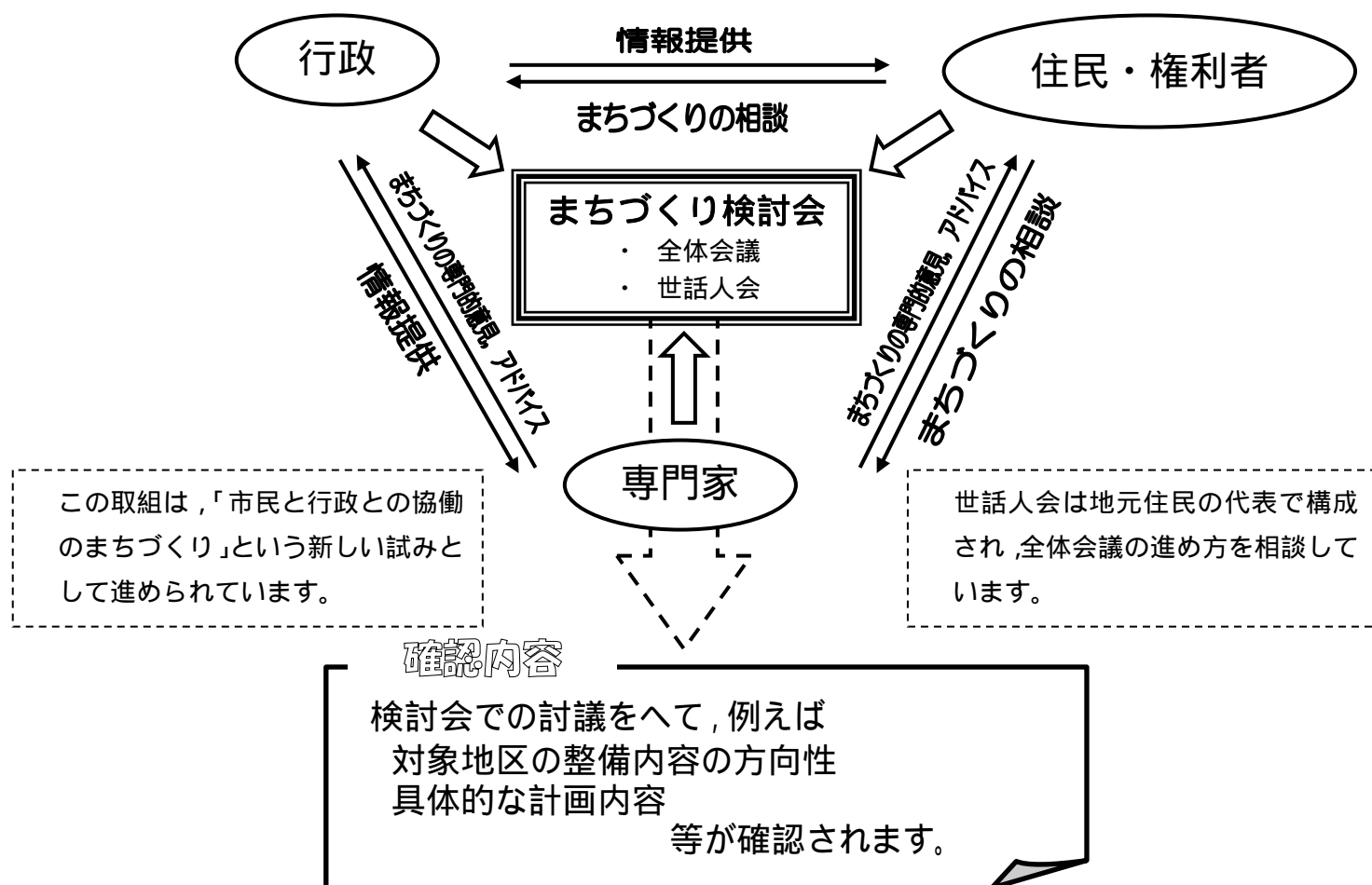
まちづくりニュース創刊

まちづくりニュースとは??

まちづくり検討会で話し合われたことを、この地区内の住民の方はもちろん、地区外の住民の方にも知ってもらうために、『まちづくりニュース』を創刊することにしました。

パートナーシップによる天神川駅(仮称)周辺のまちづくりとは!

市民と行政が一緒になってまちづくりを進められるよう、検討会では以下のような関係が築かれています。専門家には客観的な立場からの意見を提供していただいています。

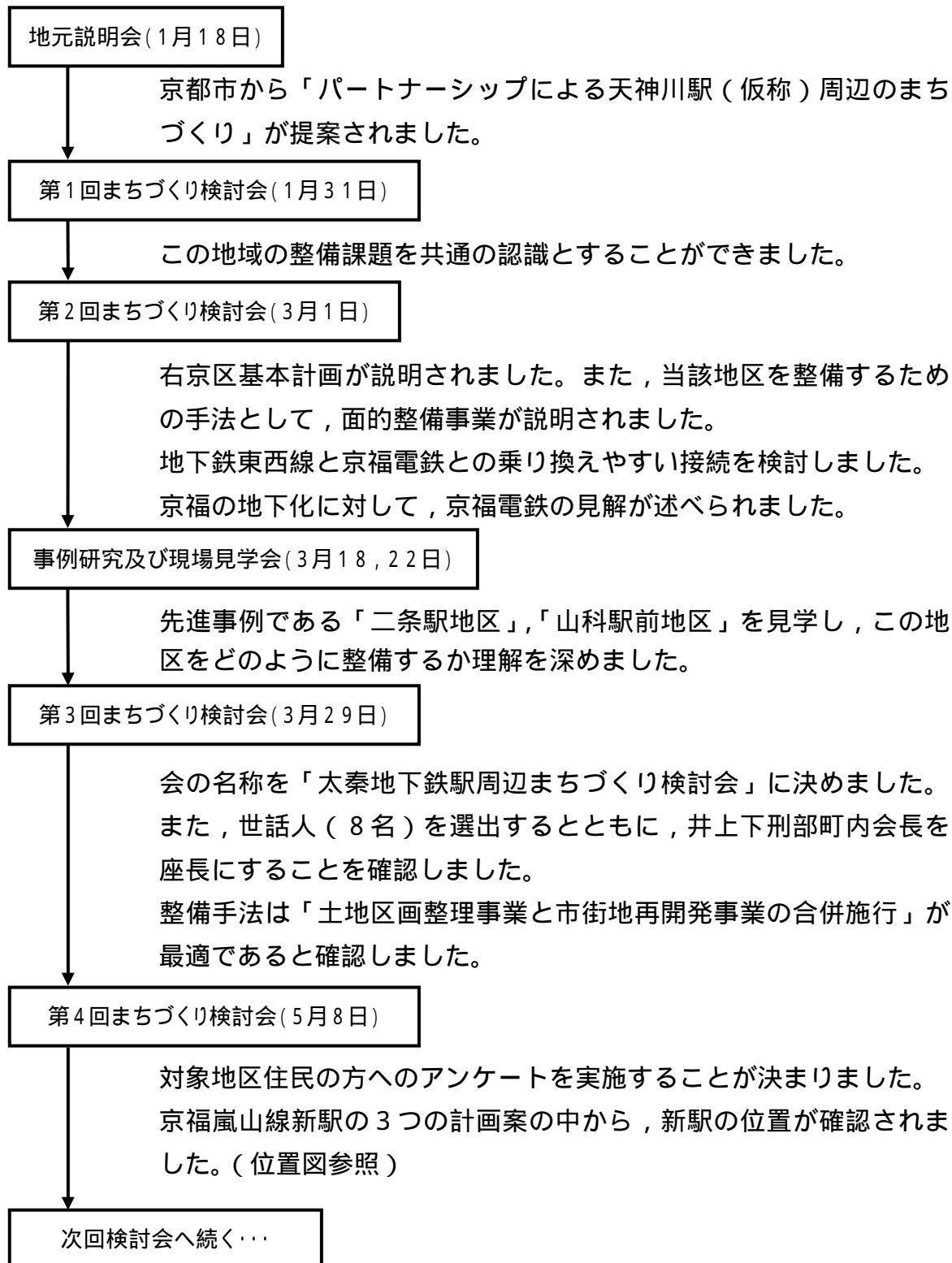


このような関係のもとに、まちづくりを進めています。まちづくり検討会に参加している住民・権利者、行政、専門家の方々は以下のとおりです。また、検討対象地区外に居住され、検討会に参加を希望される方には、オブザーバーとして参加していただいています。

住民、権利者	地区に住んでおられる方、権利をお持ちの方
行政	まちづくりに関係する課や区役所
専門家	アドバイザーやコンサルタント

これまでの検討会での取り組み

これまでにまちづくり検討会ではどのような取り組みがされたのでしょうか？
議題となったものを中心に振り返ってみます。



Q & Aコーナー

ここでは、検討会で寄せられた皆様のご意見を紹介するとともに、検討会としての考え方をお答えします。

Q 1 対象地区の住民でも、土地建物所有の方、借地で建物所有の方、借家の方等様々な形態になっているが、なぜ、これらの方と具体的な話ができないのか？

<お答え>

住民と市などで構成するまちづくり検討会は、地区の整備課題を実現し、住みつけられるまちづくりを検討している状況です。先日、検討対象地区の住民の方々を対象に「意向アンケート」を実施し、現在、集計・分析作業を行っています。今後は、地区全体のまちづくりの検討と並行して、具体的な協議を進めていく予定です。

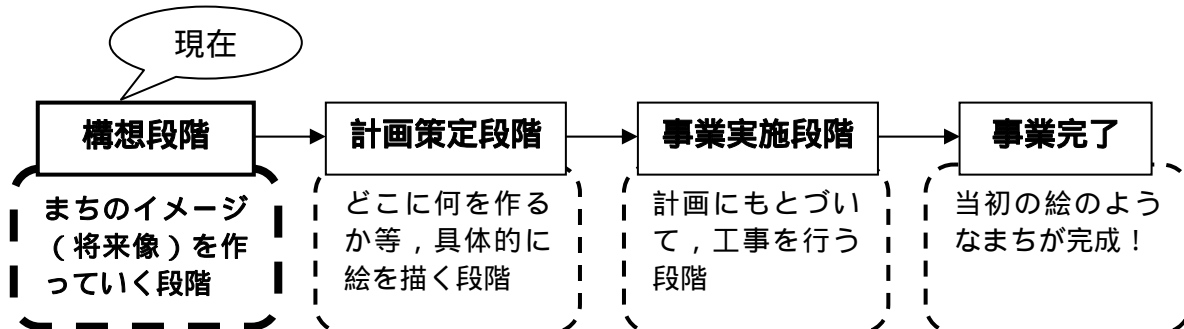
Q 2 地下鉄天神川駅（仮称）は、なぜこの位置になったのか？

<お答え>

この地区は右京区基本計画において、右京区内の交通拠点としてターミナル機能の充実をはかる地区として位置付けられており、京福電鉄との接続も考慮して現在の計画位置に定められました。また、この地区の整備課題を実現するために、御池通や駅前広場等を合わせて整備し、右京区民全体にとって利便性の高い地域として整備していく計画です。地下鉄駅の位置が、西側や東側の位置になるとこれらの機能の充実が難しいため、現計画位置が適当と考えられます。

<参考>

まちづくりの段階は以下のように分けることができます。



現在、検討会は構想段階にあり、今後は具体的な内容等と共に、まちのイメージを固めていきます。

まちづくりについてのご意見をお寄せください

連絡先（事務局）：京都市建設局都市整備部区画整理課
住所：京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地
：075-222-3511

京都市の都市整備ホームページ

メールアドレス：hitoymst@city.kyoto.jp

URL：<http://www.city.kyoto.jp/kensetu/toshiseibi/index.htm>